

Jigoemon Project

じごえもん 未来プロジェクト 2025

治五右衛門 News Letter Vol.16



じごえもん 未来プロジェクト 2025

治五右衛門プロジェクトでは、地域の子どもたちとの郷土愛育成や手仕事のワークショップを通じて、ものづくりの魅力を伝える活動を行っています。さらに、次世代の作り手・語り部の育成や、藝術を通じた国際文化交流にも取り組んでいます。

2025年度は、藝術に関心のある高校生2名が研修生として参加し、小学生から大人までを対象にしたワークショップや交流会を開催していきます。ワークショップの開催情報は、小原治五右衛門のWEBサイトやInstagramなどで随時お知らせしています。



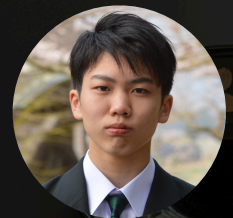
小・中学生対象
ワークショップ
- 蒔絵体験 -



大人対象
ワークショップ
交流会



治五右衛門プロジェクト
研修生
研修会



小原 好稀 / Kōki

2008年、南砺市城端生まれ。
小学1年生から書家・山根美幸先生のもとで書道を学ぶ。2023年、書道段位試験 五段昇格。2023年、富山県小中高校生書初大会出場 推選。2023年、第30回 青井中美展 デザインの部 富山県知事賞。
2024年、国際高校生選抜書展書の甲子園 入選。中学ではソフトテニス部に所属し、富山県東西交流大会団体2位、ジュニアオープン シングルス3位、地区大会団体優勝、県民体育大会団体2位。現在は高岡工芸高校の工芸科で、将来は漆を使った伝統工芸の仕事ができるよう勉強中。治五右衛門プロジェクトの経験を将来へ生かしていきたいと思っています。



西川 葵星 / Kihito

2008年、南砺市城端生まれ。
父や兄の影響で小学2年生の頃からソフトテニスをはじめ、中学では地区大会個人3位・団体2位、県大会個人2位、団体優勝、北信越大会出場・団体3位。また、幼い頃から絵を描くことも好きで、自由に絵を描き始める。2023年、中学富山県の絵画コンクール 銅賞。現在は高岡工芸高校のデザイン科で、将来は絵を描く仕事ができるよう勉強中。治五右衛門プロジェクトを通して伝統工芸に触れ、自分自身の作品に生かしていきたいと思っています。

第64回 日本伝統工芸富山展 授賞式 2025.6.5

十六代 小原治五右衛門《城端蒔絵飾箱「Eclipse II」》

第64回 日本伝統工芸富山展 日本工芸会賞

「Eclipse II」は、天文現象の「食（しょく）」をテーマに制作したシリーズの第2作です。八角形の箱の蓋には日食を、器の底には月食を描き、対となるふたつの現象をひとつの器に収めました。漆黒に仕上げた甲面は宇宙空間そのものを象徴しており、見る人それぞれが、自らの未来や内なる宇宙を自由に投影して感じていただけるようお願いを込めています。城端蒔絵450年の節目の年に、栄えある最高賞を賜り、誠に光栄に存じます。



トリエンナーレとなみ野美術展2025 開幕 2025.6.21

砺波地方(砺波市・南砺市・小矢部市)を拠点に活動する、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門から115点の作品を一堂に集めた展覧会です。ご高覧いただければ幸いです。

会 期：2025年6月21日(土) - 7月27日(日)

休館日：7月7日(月)・14日(月)

会 場：砺波市美術館

料 金：一般 600円 (500円)

高校生以下無料、障がい者(介助者1名を含む)無料

※ () 内は20名以上の団体、65歳以上の割引料金

START CAMP 2025 in 明和町 登壇決定！

START CAMP 2025 in 明和町が、7月18日(水)・19日(木)に三重県明和町で開催されます。全国から社会を変革する志を持つ仲間が集う、イノベーションの祭典。START CAMP 2025では、社会起業家、NPO、自治体、企業の垣根を超えて、ビジョンを磨き合い、「時代の変革点」をテーマに新たな価値を共創します。治五右衛門は、文化、歴史「日本の歴史と文化の本質的な価値を通じて、世界でどのように貢献ができるのか？」をテーマに語り尽くします。

企画情報 | START CAMP

**トークセッション
(文化、歴史)**

日本の歴史と文化の本質的な価値を通じて、世界でどのように貢献できるのか？

			
岩本 涼	藤本 宏樹	十六代 小原 治五右衛門	鈴木 成宗
株式会社TeaRoom	住友生命保険相互会社	城端蒔絵 漆藝家	有限会社二軒茶屋角屋本店

Messages from Friends

今年、城端蒔絵は450年を迎えます。9月には歴代作品展が福光美術館で、12月には日本橋三越本店で個展も開催予定です。素晴らしい歴史的な展覧会がいま観られるなんて感激！とても楽しみです。

十六代 治五右衛門さんは450年もの間生きていたのではないかと、思うくらいに城端蒔絵の歴史や曳山には詳しく、先祖を尊敬し、城端蒔絵の歴史を継承していくための努力は時間を惜しまず、それも楽しんでやっている気がします。

地元のものづくりの仲間ということで、初めてお会いしたのは20代の頃でしたが、年々彼の魅力が増していると感じます。作品はもちろんのこと、ブレない考えや強さ、人としての優しさがあり、治五右衛門さんとなら何かやりたい！と彼の周りには人が集まって来ます。

何に対しても一生懸命で、年だけは私が上ですが、教わることで多く、相談するとの確かな答えをくれるので頼りっぱなしです。

城端が好きなことは誰にも負けないMr.城端。同じ城端に住んでると言うだけで誇りです。

十五代 好博さんは日本画家、八代目は天文学者で、二代目は医者であったと聞きました。十六代は歌手と言っても過言ではなく、とにかく歌が上手い。歌声を聞いたことがある人は、みんなそう言います。才能は多才で、ファッションセンスも半端なく、写真もプロカメラマン以上の、良いアングルで撮るのです。

そんな魅力のある彼の作品は、常に形を変えながら本質は決して変わることはない自然のすがたに、城端蒔絵の歴史と未来を託した清新な作品ばかりです。

確かな技術と感性が期待を超え、自分を超えていくのだと確信しています。

山根 美幸



書家

山根 美幸 / YAMANE Miyuki

富山県南砺市城端在住の書家。伝統を踏まえつつ前衛書に取り組み、毎日書道展や奎星展など全国の公募展で作品を発表している。1993年に毎日書道展秀作賞を受賞。以降、奎星展特選を複数回受賞。奎星新人100人展、北陸代表作家展、富山県展などにも精力的に出品し、県展賞・県展奨励賞(4回)を受賞。2007年には富山県書道連盟の企画展「選ばれた40人展」に選出され、同年の第59回 毎日書道展では毎日賞を受賞。その後も奎星俊英展、となみ野美術展、「富山県書壇100人展」などに継続して出品し、2012年にはとなみ野美術展で北日本新聞社賞、2013年には第62回 奎星展で無鑑査特別賞を受賞。近年も精力的に創作を続け、2019年の第68回 奎星展では同人特別賞、2021年の第72回 毎日書道展ではグランプリにあたる会員賞を受賞。北陸代表作家展、奎星俊英展、「富山県書壇100人展」ほか多数出品。個展「今を書く・山根美幸展」を開催。精神性と現代性を融合させた書を追求している。また、山根美幸書道教室を主宰し、後進の育成にも力を注いでいる。

富山県書道連盟 委員
毎日書道会 審査会員
奎星会 同人会員
山根美幸書道教室 主宰



OHARA Jigoemon XVI

- Johana Makie -

令和7年(2025)

【活動報告】

- 6月2日(月) インタビュー取材
- 6月4日(水) 理事会
- 6月5日(木) 第64回 日本伝統工芸富山展 授賞式
- 6月9日(月) 城端蒔絵450年記念展 ミーティング
- 6月10日(火) 第64回 日本伝統工芸富山展 搬出
- 6月13日(金) トリエンナーレとなみ野美術展 搬入
- 6月21日(土) トリエンナーレとなみ野美術展 開会式
- 6月25日(水) 理事会
- 6月26日(木) 城端地域学校評議員会

令和6年度能登半島地震・大雨被害で被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げます。
被災地ではまだ不安な日々をお過ごしのことと拝察いたします。
1日も早い安心の暮らしの蘇りに結ばれますよう祈念いたします。

〒939-1865 富山県南砺市城端4316-1

Tel / Fax: 0763-62-1156

E-mail: info@jigoemon.com



<https://www.jigoemon.com>